



# 校長だより

呉市立市阿賀小学校  
安宗 誠



## 大切なのは関わり切ること？やらせ切ること？

どちらも大切でしょうね。しかし、無理が生じやすいのは、「やらせ切ること」。「やらせ切らないと気が済まない」ということになると、やらせる側もストレス、やらされる側もストレス。そういうストレスを乗り越えてこそ・・・という考え方もまちがいでないでしょう。しかし、いくらやらせ切ろうとしても、やり切ることのできない子どもは確かにいます。そんなとき、その子をやらせ切れない自分を責めますか？だれかにSOSを求めますか？それともその子のせいになりますか？そして、あきらめますか？

そんな悩みをかかえたとき、たとえ、やらせ切ることができなくても、関わり切ることができます。実はこの関わり切ることのほうが、むしろ、子育てにおいては大切なことなのではないかと思ったりもします。保護者として、先生として、関わり続け、その子なりのわずかな進歩にも気づき、認め、励まし続ける営みの方が、長い目でみれば、その子にとっては、生きるエネルギーとなる場合は大いにあるでしょう。何がいいのか悪いか、すぐには分からないのが教育の営みですが、子に関わり切り、長い目で子の成長を見守っていく心の余裕がある意味必要なのではないでしょうか。

本年度のもちつき大会のテーマ

「あがっこみんなでつなぐ伝統 笑顔咲かせるもちつき大会」(12月2日)



保護者の皆様方、ご協力誠にありがとうございました。